

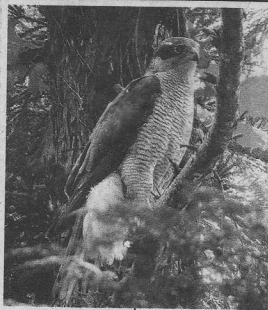
(第3種郵便物認可)

# 「おおたかの森」早期公園化へ

## 県に署名1万5365人分

NPOなど提出

流山市で自然保護活動をするNPO法人「NPOさとやま」は16日、オオタカが生息する同市の「市野谷の森」(通称・おおたかの森)を、県立公園として早期に整備することを求め、一万五千三百六十五人の署名を森田健作知事宛てに提出したと発表した。



同NPOの榎聡理事長(金)らが15日、県公園緑地課に署名簿を出した。公園整備を終えるまで、オオタカなど貴重な動植物を失わないようにする施策の実施も要望している。榎理事長によると、県の担当者は同市と対応の協議を始めていると説明した。

同NPOによると、署名者の多くは流山市民で、近隣の住民もいる。つくば

「市野谷の森」に生息するオオタカ―流山市で(昨年、流山のオオタカを守る会提供)

エクスプレス(TX)の沿線開発による雑木林や畑の減少と、豊かな自然のシンボルのオオタカの生息に対する市民の強い危機感を表していると指摘。榎理事長は「早期実現には予算の問題もあるので、市や県の協議に参加して公園化が実現するまでの環境保全に取り組みたい」と話した。

市野谷の森は、県が一九九六年度に県立公園などに整備する方針を示したが、用地買収などが遅れ、整備終了時期は未定。TXの沿

線開発で周辺の市街化が進んでいることに危機感を持った同NPOなど三団体が。呼び掛け団体になり、今年一月から署名を集めていた。(飯田克志)

### 「市野谷の森」県立公園早期に

## 1万5365人署名提出

流山3団体

オオタカが生息する流山市の「市野谷の森」(通称・おおたかの森)の県立公園化を早期に実現するため、市内の環境3団体は15日、1万5365人分の署名を県公園緑地課に提出した。全体の整備完了時期が決まっ

ていない県の県立公園事業を加速化させるのが狙い。NPOさとやまの榎代表は「有権者人口の約11%という、多くの署名を集めることができた。ここ数年、住宅開発が急速に進み、身近な雑木林や畑が

どんどん失われ、オオタカの生息が脅かされていることへの市民の危機感の現れだ」とコメント。「公園の早期実現に向けて必要な業務を進め、公園が実現するまでの間にも、貴重な動植物が失われることのないように必要な施策を実施してほしい」と求めた。

【橋口正】